

**1 研究目的、研究方法など**

本研究計画調書は「平成31年度奨励研究審査区分表（公募要領31頁～32頁参照）」の審査区分で審査されます。記述に当たっては、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領54頁参照）を参考にすること。

本欄には、以下の①～③について簡明に記述すること。

- ① 本研究種目の目的（教育的・社会的意義を有する研究への助成）に留意し、どのような背景（本研究を応募するに当たり、着想に至った経緯等）、問題意識で、研究期間（1年）で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、本研究の特色と意義が分かるように研究目的、研究計画・方法を記述すること。
- ② これまでに本研究計画に関連する研究を行っている場合には、その過程や準備状況と実行可能性（研究計画の実施をサポートする研究指導者、研究協力者がいる場合はその内容等を含む）を記述すること。
- ③ 企業の職員については、商品・役務の開発・販売等を直接の目的とする研究（市場動向調査を含む。）及び業として行う受託研究との相違点についても記述すること。

**※1頁以内で記述すること。**

※留意事項：

1. 本文全体は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
2. 様式上で「※」で示している文章については削除して構いません。
3. 各欄上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。
5. 本留意事項（斜体の文章）については、研究計画調書の提出時には削除すること。

## 2 これまでの研究活動及びその成果

本欄には、これまでの研究活動（大学院等での研究活動を含む）とその成果の具体的な内容について記述すること。  
なお、過去5年以内に奨励研究の交付を受けて行った研究課題がある場合には、当該研究課題の「交付年度」「課題番号」「研究課題名」「交付決定額」「研究概要（今回の応募との関連性や相違点等の記述も含む）」について記述すること。（複数課題がある場合は、それぞれ記述すること。）

**※1頁以内で記述すること。**